

# 学校だより

新年 あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしく願いいたします

校長

今年辰年ですね。干支の由来の一つに、「十二支を決めるために動物たちに招集がかけられ、到着した順で十二支が決まった」という物語がありますが、その他にも干支のルーツには、「中国天文学で空を十二等分した名称として使われるようになり、その後広く暦を表す記号として使われるようになった」という説もあります。でも、辰というのは、架空の動物です。ほかの干支は実在する動物なのにどうして辰が入ったのでしょうか。中国がルーツといわれる十二支ですが、辰（龍）は古来より縁起のいい生き物とされているのできっと縁起がいい辰を干支に選んだのかもしれません。2024年の干支は「甲辰」で「春の日差しが、あまねく成長を助く年」になるそうです。春の暖かい日差しが大地のすべてのものに平等に降り注ぎ、成長と変化を誘う年。今までの努力が実を結ぶ年にもなりそうなので、小さな努力を積み上げていきたいものですね。

さて、今年度もあと3か月で、3月からは校舎改築に向けての工事も始まります。学校では、年度末に向けての校内の大掃除や引っ越しの準備などが始まります。何分古い校舎なので、みんなが丁寧に大事に扱わないと、壊れそうな箇所や修繕が必要な個所の被害も大きくなってしまいます。校舎を回っていると、廊下にはフックにかけきれない手提げや巾着が床（廊下）に落ちたままになっていることがあります。教室の中に入るとロッカーからランドセルがはみ出ていたり、床に落ちたままになっていたりすることもあります。そんな時は、できるだけ袋をかけ直したり、ロッカーに入れ直したりしているのですが、自分のものでない限り子どもたちは、見えてはいてもそのままにして「片付けてあげよう」という思いをもつことが少ないようで、少し悲しい気持ちになります。

私たちが暮らしている中で見るもの、聞くものの多くは「小さなこと」かもしれませんが、気になったことを見過ごしていると、やがて大きな結果を招くことにつながるという面もあるのではないのでしょうか。学校の児童の荷物が落ちていてもそのままになっていることは、例えば、自分の持ち物への関心が薄かったり、「誰かが気付いて直してくれるだろう」と人任せになっていたり、自宅でも小さなごみが落ちていても「誰かが掃除をしてくれるだろう」と思っていたり。目に映った小さなごみや汚れを意識するかどうか。さらにはその後、どんな行動をとるかが問われるのではないのでしょうか。最初はちょっとしたきっかけだったとしても、「小さなこと」が積み重なると「大きなこと」になっていきます。「小さなこと」をおろそかにしないという心の姿勢の大切さ。ゴミを拾ったり、相手を思いやる言葉をかけたり、誰かの手助けをしたりといった日ごろの行いも自分自身の心の豊かな人生を築いていく上で大切な心掛けだととらえることができると思います。3月まで、まずは自分たちが使った教室や場所をきれいにして次にその教室を使う学年が気持ちよく使えるようにする。そして改築まで、学校をきれいな状態で過ごせるようにする気持ちをもって今年1年間を過ごしていきましょう。

また、去年は後期から児童の登下校の見守りにご協力いただきありがとうございました。

保護者・地域の皆様、本年もどうぞよろしく願いいたします。